

豊和

海外開拓に本腰

単独初の国際デニム展でPR

洗い加工大手の豊和（岡山県倉敷市）は今後、製品OEMで海外販路の開拓を推進する。昨年、単独では初となる海外展に出展。田代雄久社長は「手応えがあった」と話す。海外での受注に向けて国際認証も昨年取得した。展示会に継続的に出展しながら、海外向けビジネスを広げる。

昨年12月にイタリア・ミラノで開かれた「デニム」に特化した国際見本市「デニム・ブルミエール・ヴィジョン（PV）」に初出展し、PRした。海外ブランド向けのサンプリ生産が進むほか、実際に受注につながったものもあるという。

英語が話せる人材を置いては、海外向けの生産管理の部門も設ける。近年、欧州ブランドとのビジネスで国際認証を求められるケースが増える中、昨年には国際的なオーガニックテキスタイルの認証である「GOTS」を玉野工場（同玉野市）で取得した。GOTSの公式サイトによると、5日時点で国内での認証取得は46件で、ジーンズの洗い加工場の取得は珍しい。今後は同グループのジーンズ縫製工場、オオダソーイングファクトリー（OSF、秋田県大館市）でも取得を目指す。

今後、デニムPVに継続出展しながら販路を開拓する。田代社長は「将来的に海外販売比率を30%にまで上げていく」と話す。

豊和では生産体制の強化に動いている。昨年実施した工場集約の効果が表れた。縫製能力の強化を進めている。本社工場の老朽化が進んだことに加え、生産の効率化につなげるため、ナショナルブランド向けの加工が主体だった玉野工場へ生産機能を昨年集約した。無駄をなくすなど、皆が原価意識を持って仕事に取り組んでいる（田代社長）など、集約の効果が「出てきている」。

縫製能力も高まる。同社の関連会社で、ファンデーションやランジェリー生産を主力とする岡山ビューティ（岡山市）の本社工場を、デニム製品を製造する工場へ転換。昨年12月に生産設備がそろったため、徐々に稼働を始める。21年に設立したOSFは「5ポケットのジーンズだけ縫える工場では生きていけない」として、Gジャンといった上物の生産も進めている。今後は両工場とも人員を増やす考えだ。

田代社長は「開発も徹底的にやっている」と説明。独自に改造した設備を導入し、反応染料を使って硫化染料の表情を出す加工などを開発し、提案を進めている。本社工場では7台稼働する独自のシェービング（擦り）ロボットは、シフトの向上に向けた開発に取り組める。

美希刺繍工芸 車の内装へ活用も

刺しゅう加工の美希刺繍工芸（広島県福山市）は、木材へ刺しゅうする技術の用途開発を進める。元は、広島県府中市の名産品「府中家具」の表面は樹脂を塗布する。一つ、婚礼たんに刺しゅうする。ゆーするために開発した手法で、自動車の内装を装飾する部品としての用途開発を進めている。板に刺しゅうした後に裏側に板を貼り合わせ、表面は樹脂を塗布する。

刺しゅう針をメスに換える特許技術により、刺しゅうと彫刻を組み合わせた柄も表現できる。レーザーでは木材を焦がしてしまつたため「世界で1社しかできない技術（苗代次郎会長）で、家具と繊維の産地が隣り合わせでなければ、生まれなかった手法」だ。

メスで切り取った箇所には別の素材をはめ込むこともできる。さらに、木材を凹凸や曲面に加工する技術と組み合わせることで、立体的な部品の製作も可能だ。

同社は、30を超える特許を所有する。苗代会長は「オンラインワンの仕事を」「と刺しゅうの技術を生かせる用途開発に注力する。



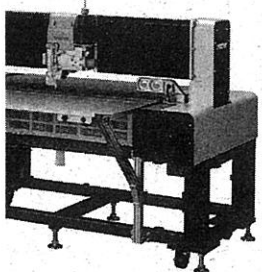
加工開発にも注力する（反応染料で硫化染料の表情を出す加工）

ブラザー工業新機種

技術継承デジタルで解決

業界初のセンサー技術搭載

ブラザー工業は技術継承をデジタル化した。熟練者の感覚をデジタルで解読する（写真上、下）



0日に発売した新機種「シオBAS-365KJ」

術「デジタル」を搭載。設定した「目標値」と本体の「現在値」を比較し、調整が可能となる。センサー技術により、調整状態をハネルで確認することができた。縫製不良が発生した場合に原因を特定し適切な調整が可能となる。さ

のばらつきもなくなる。生産性にも優れており、調整状態をハネルで確認することができた。縫製不良が発生した場合に原因を特定し適切な調整が可能となる。さ

なる。ほかにも、生地厚検知装置によって、設定した厚みと測定値が異なる場合にエラーを表示する。生地を重ね枚数の間違いを防止する。メンテナンス性も向上

産地ブランド 集めマーケット

業と協業するため県外からクリエイターが移住するなどの動きが新たな新しい

産地ブランド 集めマーケット

業と協業するため県外からクリエイターが移住するなどの動きが新たな新しい

産地ブランド 集めマーケット

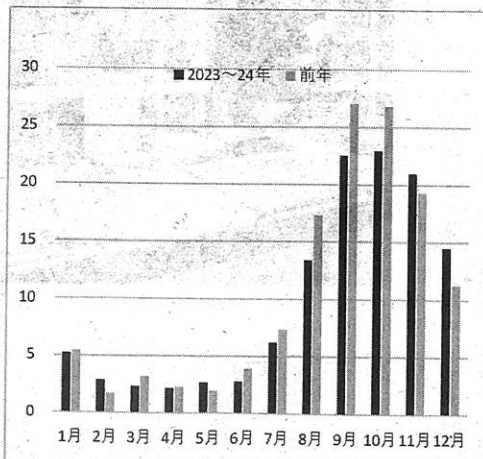
業と協業するため県外からクリエイターが移住するなどの動きが新たな新しい

産地ブランド 集めマーケット

業と協業するため県外からクリエイターが移住するなどの動きが新たな新しい

24年の輸入動向

合繊毛布（起毛品） 7.1%減少



合繊毛布（起毛品）輸入額

	12月速報値	前年同月比	累計	前年同期比
中国	1,410	127.5%	11,178	93.1%
計	1,440	128.8%	11,220	93.2%